

報告者について

氏名(所属専攻・職名)	落合 博志 (日本文学研究専攻・教授)
略歴	<p>学歴</p> <p>1983年 東京大学文学部卒業</p> <p>1990年 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学</p> <p>職歴</p> <p>1990年 法政大学第二教養部専任講師</p> <p>1993年 同助教授</p> <p>1996年 国文学研究資料館助教授</p> <p>2007年 同准教授</p> <p>2012年 同教授</p>
専門分野	日本中世文学・中世芸能、日本古典籍書誌学
現在の研究テーマ	<p>能楽および関連する文学・芸能の研究</p> <p>日本古典籍の体系的な研究</p>

報告内容について

題名	国文学研究資料館における資料の収集・保存・公開と研究について—原本資料を中心に—
概要	<p>1. 国文研は博物館ではなく、展示活動を事業の中心に置いていない。そのため展示に多くの予算を割くことができず、資料購入の予算枠もなく、通常の原本購入費や科研費・研究費等で買った資料を展示にも使っているのが現状である。</p> <p>2. 国文研では現在、主に研究プロジェクトの成果を発表する年数回の展示と、日本古典籍概説に当たる年1回の「和書のさまざま—書誌学入門—」展を行っている。来年度から、「和書のさまざま」をリニューアルして常設展化し、その展示換え期間を使って年2~3回程度の特別展示を行う形に改める方針である。その際、「和書のさまざま」をこれまでのような入門・概説展示にとどめず、日本の古典籍について総合的に考えるきっかけを与え、今後の日本古典籍書誌学のあるべき方向を示すような展示にすることを提案したい。国文研が長年行ってきた資料調査の成果を踏まえ、新しい「書物の学問」を構想し学界や一般に向けて発信して行くことは、国文研にふさわしい仕事である。</p>